音楽科 担当教員：

使用教材:教科書、音楽のハーモニー(1,2,3年)
合唱曲集 (1,2,3年コーラスフェスティバル)

【学習の目標と学習方法】

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する

授業について *授業は教科書、ワーク、合唱曲集を使用して進めていきます。 *音楽の技能については個別に指導していきますので、経験がある、ないは関係ないので安心してください。 *年に数回実技テスト、調べ学習があります。 *区の共用楽器の順番、インフルエンザやコロナの関係で器楽や歌唱等ができずに授業内容が前後することがあります。 生徒の皆さんに *忘れ物があると、授業に参加しづらい内容もあるので、忘れ物がないようにしましょう。週に一度の授業なので宿題、提出物、授業態度や積極性が大切です。 *苦手なものを敬遠してしまうのではなく、「まずやってみよう」という積極的な気持ちで授業に臨んでく	〈家庭学習について〉 *普段の生活の中で、好きなジャンルにこだわらず、いろいろなジャンルの音楽を聴いたり歌ったりしましょう。知っているジャンルや曲を授業で学習することで、興味関心も生まれ、音楽的教養が広がっていきます。 〈試験前はこうに取り組もう〉 *教科書の内容、ワークシート(プリント)を中心に出题します。一週間前には対策プリントも出しますのでしっかりと学習しましょう。また、ノート提出もありますので配布されたプリントはしっかりと貼っておくと学習しやすいです。 *実技テストも事前にお伝えします。プレテストや助言がもらえる授業もありますので、クラスで皆が積極的に参加できる雰囲気になるとよいと思います。			
		知識・技能 曲想と音楽の構造や背景をなどとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	思考・判断・表現 音楽表現を創意工夫することや、音楽の良さや美しさを味わって聴くことができるようにする	主体的に学習に取り組む態度 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う
	評価観点 曲想と音楽の構造や背景をなどとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	音楽表現を創意工夫することや、音楽の良さや美しさを味わって聴くことができるようにする	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う	
	評価資料 ・授業観察 ・実技テスト ・定期考査 ・振り返りシート ・ワーク	・授業観察(取り組み状況など) ・ワークシート ・授業観察 ・ワーク	・授業観察(発言内容・取り組み状況・発表様子など) ・提出物 ・ノート提出	

1年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計45h
	ガイダンス ボイスチェック 鑑賞「春」 校歌	11	合唱 指揮法 合唱コンクール曲決め 期末考査	3	合唱(合唱コンクール曲) 音楽記号の書き方、読み方 魔王	12	音楽記号の書き方 鑑賞「日本の民謡」 期末考査 (リコーダー)	9	器楽(箏)の基礎「荒城の月」 鑑賞「六段の調」、リコーダー 学年末考査 式歌	10			

2年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計35h
	ボイスチェック 校歌、翼をください パートの役割 (7h)	6	サンタルチア、joyful joy 鑑賞「交響曲第5番」 合唱コンクール曲決め 期末考査	6	器楽(箏) 合唱(合唱コンクール曲) 拍子記号(リコーダー)	7	郷土の祭りや芸能 鑑賞「アイダ」 期末考査 リズムドリル	6	リズムドリル 鑑賞「日本歌曲」「歌舞伎」「文楽」 学年末考査 式歌	10			

3年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計35h
	ボイスチェック 「花」「荒城の月」 様々な国・言語の音楽	7	鑑賞「ボレロ」「アイダ」 楽典のまとめ 合唱コンクール曲決め 期末考査	6	合唱(合唱コンクール曲) 音楽を形づくっている要素 声部の役割	8	楽典のまとめ 鑑賞「日本の伝統音楽」 期末考査	7	器楽(箏) 西洋音楽史、ポピュラー音楽の歴史 学年末考査 式歌	7			

※区の共用楽器の順番により授業内容が前後したり、実技が鑑賞や理論に変わってしまうことがありますのでご了承ください。